

第3回 ミニ探究発表会に向けて

音楽療法についての研究計画

6年 C組 10番 榊 星滯奈

これまでの調査内容

* 第1回探究発表会

- Formsで全校生徒にアンケートを実施
「音楽が自身にどのような効果をもたらすのか。」

* 第2回探究発表会

- 高齢者音楽療法について文献比較した。

「問い」と「結論」

- 問い

音楽療法は時間や場所によって
音楽聴取後の効果に違いが見られるのか。

- 現時点での結論
見られる



音楽療法の背景

現在、日本は少子高齢化が進み、
高齢者の健康の維持、向上が課題である



音楽療法

* 音楽療法の基礎知識

* 音楽療法とは音楽の作用を用いて
身体面・精神面・社会面に働きかけ、
心身機能の維持・改善、生活の質の向上を促進するもの

* 効果

- 脳の活性化
- 心理的な安定
- コミュニケーション能力の向上

根拠A

どこでどんな目的で活用するかによって、
音楽が生み出す効果は異なる

例) 老人ホーム、介護施設

特別支援学校

心身の健康が向上

成長の発達を促す



根拠B

音楽療法は、一番有効と思われる時間帯に活用するかによって効果が異なる

例) 便秘症の患者



食事前か食事後に音楽を流す



不眠症の患者



就寝前に音楽を流す



根拠Aが成立するために必要なデータ

*どのような調査を行ったのか

2つの論文を比較し、使用する用途によって効果に違いがあることを調査した。

- 老人ホーム、介護施設 →心身の健康が向上
- 特別支援学校 →成長の発達を促す

根拠Bが成立するために必要なデータ

*どのような調査をこれから行うのか

- 音楽療法後の時間帯別の効果について、論文を比較する。

→対象者にとって最も有効と思われる時間帯に流す場合とそうでない場合で、数時間後に見られる効果に大きな違いがあるか根拠となるデータを調査する。

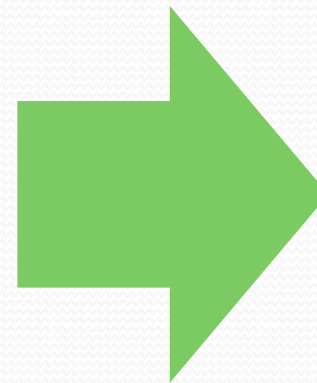
音楽療法の魅力！

①音楽療法は多くの人々が親しみやすい「音楽」を活用し、年齢や性別を問わず様々な用途に用いることができる。

②様々な効果が期待できる！

例) 子供

楽しく遊んでいるようだけど、
アイコンタクトは取れず一方的



音楽、楽器を通して
人に気づく
そして共有体験を
積み重ねる

今後の研究計画

根拠B①

不眠症の患者が、最も有効とされる就寝前に音楽療法を行う場合と、午前中に音楽療法を行う場合での療法後の効果に大きな差があるのか調査するために



不眠症の患者を対象とした音楽療法の療法後数時間ごとに見られる様子の実例または根拠となるデータ、睡眠の質の差をまとめた論文を探す